

令和6年度

横浜市交通安全対策協議会

総会資料

横浜市交通安全対策協議会

目次

○令和6年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動実施報告 ……	1 ページ
1 各季の交通安全運動・強化月間実施結果 ……	1 ページ
2 世代別の交通安全啓発 ……	3 ページ
(1) 幼児	
(2) 小学生	
(3) 中学生・高校生	
(4) 高齢者	
(5) 一般向け	
3 その他の活動 ……	11 ページ
(1) 踏切の交通事故防止	
(2) 横浜市交通安全対策会議における決定事項を踏まえた取組	
(3) 横浜市交通安全功労者表彰式	
4 令和6年度交通安全対策事業の各区の取組について ……	12 ページ
○委員の皆様よりお寄せいただいた取組事例の紹介 ……	21 ページ
○令和7年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動実施計画(案) ……	30 ページ
○参考資料	
資料1: 横浜市における交通事故の状況等(令和6年) ……	34 ページ
資料2: 横浜市交通安全対策協議会会則 ……	36 ページ
資料3: 横浜市交通安全対策協議会委員名簿 ……	39 ページ

令和6年度横浜市交通安全対策協議会 運動実施報告

令和6年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数 7,263 件（前年比－440 件）、負傷者数 8,321 人（前年比－588 人）で、ともに減少しましたが、交通事故死者数は 40 人（前年比±0）と、依然として多くの尊い命が失われています。

令和7年は引き続き、横浜市交通安全対策会議で定めた、「年間の交通事故死者数 36 人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標に、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

1 各季の交通安全運動・強化月間実施結果

(1)春の全国交通安全運動

実施期間	4月6日～15日（※交通事故死ゼロを目指す日は4月10日）
重点	・こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行 ・自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守 ・二輪車の交通事故防止
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・登園、登校時の見守り活動 ・新入学児童に対する交通安全教室を実施

(2)九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間

実施期間	5月1日～31日
重点	・自転車交通ルールの遵守とマナーの向上 ・自転車点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務の周知徹底 ・全ての自転車利用者に対するヘルメット着用努力義務の周知徹底
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・自転車等放置禁止区域を巡回し、放置防止の啓発を実施 ・自転車街頭点検の実施

(3)二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間

実施期間	6月1日～30日
重点	・二輪車の安全利用促進 ・暴走族の追放
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・警察と連携して街頭での呼びかけを実施

(4)夏の交通事故防止運動

実施期間	7月11日～20日
重点	・安全運転意識の向上 ・妨害運転・飲酒運転の根絶 ・こどもや高齢者を始めとする歩行者の安全確保
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・夏休み前の児童を対象とした交通安全講話を実施 ・自治会町内会と連携し、夏祭り等での呼びかけを実施

(5)秋の全国交通安全運動

実施期間	9月21日～30日(※交通事故死ゼロを目指す日は9月30日)
重点	・反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止 ・夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶 ・自転車、特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底 ・二輪車の交通事故防止
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・自動車学校等と連携し、高齢者ドライバーを対象とした講習会を実施

(6)首都圏放置自転車クリーンキャンペーン

実施期間	10月1日～31日
重点	・放置自転車の防止 ・交通ルールの遵守と駐車マナーの向上
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・駅周辺で、注意・警告札の貼付やパトロール、移動作業を実施 ・自転車街頭点検を実施

(7)年末の交通事故防止運動

実施期間	12月11日～20日
重点	・歩行者の安全の確保 ・夕暮れ時と夜間の交通事故防止 ・二輪車の安全利用促進
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・冬休み前の児童を対象とした交通安全講話を実施

(8)飲酒運転根絶強化月間

実施期間	12月1日～31日
重点	・飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発 ・飲酒運転を助長する環境の根絶とハンドルキーパー運動の推奨
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・警察と連携し、商店街や飲食店を訪問して飲酒運転根絶の呼びかけを実施

2 世代別の交通安全啓発

(1) 幼児

※実績…令和6年12月末時点

①幼児交通安全教育訪問指導

幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象に、横浜市交通安全キャラクター(ルール・まもる)を用いて訪問指導を実施しました。

実績	233回、15,464名
----	--------------

②保護者向け交通安全教室

幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象に、園児の保護者を対象とした交通安全教室を実施しました。

実績	14回、276名
----	----------

③チャイルドシート取り付け方教室の実施

地区交通安全協会・交通安全母の会が中心となって、各区両親教室や乳幼児健診等に参加する保護者を対象に実施しました。

実績	36回、1,559名
----	------------

④幼児向け交通安全教育動画やチラシでの啓発

幼稚園・保育所や家庭などで活用いただけるよう、「幼児向け交通安全教育動画」を YouTube で公開し、各季に X(旧ツイッター)で紹介しました。また、幼児を自転車に同乗させるとき等の安全上のルールや注意点をまとめたチラシ「まもって！いのちと交通ルール」を区役所の乳幼児健診等で配布しました。



◀幼児交通安全教育訪問指導

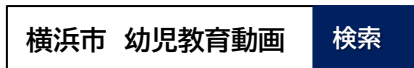


保護者向け交通安全教室▶



◀動画「ヘルメットをかぶろう！」

▼二次元コードはこちら



保護者向けチラシ
「まもって！いのちと交通ルール」

(2) 小学生

①子どもの通学路交通安全対策事業

「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標として、交通事故データや ETC2.0 の速度データなどを活用・分析し、ハードとソフト両面で交通安全対策に取り組む「子どもの通学路交通安全対策事業」を実施しています。

令和6年度は、交通安全推進校※として、大岡小学校(南区)、藤塚小学校(保土ヶ谷区)、八景小学校(金沢区)、藤が丘小学校(青葉区)、緑園学園(泉区)の5校を選定しました。スクールゾーン対策協議会などで対策内容を説明しながら、ハード・ソフトの両面で交通安全対策を実施しました。

※児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校

【ハード対策】

拡大!!

①-ア 交通安全施設の充実

ハード対策として、路面標示や防護柵等の交通安全対策を実施しました。そのうち、交通安全推進校では、ハンプやスムーズ横断歩道といった物理的デバイスを設置しました。



路面標示



スムーズ横断歩道



ハンプ



狭さく

【ソフト対策】

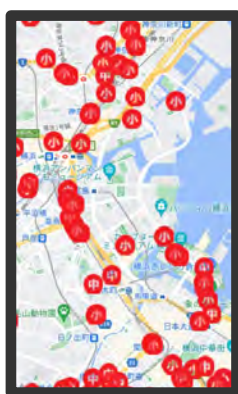
New!! ①-イ こども・安全安心マップのリリース

市内全域の小学生・中学生の交通事故の発生場所や事故の概要を Google マップで確認できる「こども・交通事故データマップ」は、令和5年3月の公開から、累計 170 万以上(令和 6 年 12 月時点)の閲覧がされました。

令和6年7月には、市民のみならず「通学路の安全を点検するため、防犯情報も掲載してほしい」との要望を受け、こども・交通事故データマップに不審者情報等を加えた「こども・安全安心マップ」を新たにリリースしました。

全市立学校 505 校をはじめ、地域の方々や保護者の皆様などにも広くご覧いただき、「交通安全対策」と「防犯対策」の両輪で、さまざまな角度からこどもの安全安心を守るための取組を推進していきます。

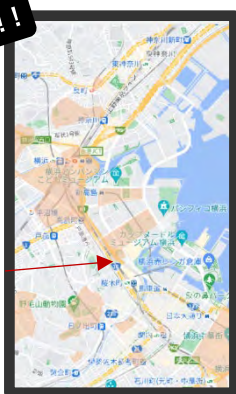
こども・交通事故データマップ



追加!!

+

防犯情報



=

こども・安全安心マップ



▼二次元コードはこちら



横浜市 こども・安全安心マップ 検索

(イメージ図)

引用:Google マップ

拡大!! ①-ウ 放課後キッズクラブ交通安全教室

こどもたちの夏休みの居場所づくりの一環として、こども青少年局や学童クラブと連携し、児童の交通安全意識を高めるための交通安全教室を実施しました。

夏休みなどの長期休暇を利用して、小学生を対象に交通安全推進校などの放課後キッズクラブで実施し、こども・安全安心マップを活用して通学路のマップを作成する等、こどもたちの自主性を尊重したグループワーク形式で行いました。

実績 16回、603名



「こども・安全安心マップ」を教室内で活用



学区内の危険箇所を確認
(警察 OB 等が指導員として補助)

②はまっ子交通あんぜん教室

交通安全協会・県警・区役所が連携して実施する「はまっ子交通あんぜん教室」では、道路の安全な歩き方や正しい自転車の乗り方について、衝突・巻き込み・死角実験など実際の危険の疑似体験を交えながら、地域や学校の特성에応じた安全教育を実施しました。



実績	284回、58,625名
----	--------------

③通学路はたふり誘導講習会

児童の誘導等に従事されている保護者等を対象に、はたふり誘導講習会を開催しました。

実績	3回、168名
----	---------



←二次元コードはこちら

横浜市 通学路のはたふり誘導動画 [検索](#)

更新!!

④スクールゾーン活動の支援

各小学校のスクールゾーン活動が効果的かつ円滑に行えるよう各種冊子を配布しました。



スクールゾーン活動のしおり



通学路はたふり指導ハンドブック



通学路安全点検ハンドブック

New ! ⑤小学生向け交通安全動画

小学生への交通安全啓発として、新たに交通安全動画を作成しました。
動画を通じて親子で交通ルールの確認や、学校での交通安全学習にご利用いただけます。

二次元コードはこちら▶



横浜市 小学生向け交通安全動画 検索



New ! ⑥交通安全教育動画「ルールとまもるからのちょうせんじょう」

新たに小学1年生となる幼児を対象に、通学路の安全な歩き方を啓発するため、実写映像とアニメーションを組み合わせた啓発動画を作成しました。保護者と子どもと一緒に交通安全を学べます。
(令和7年3月下旬公開予定)

二次元コードはこちら▶



横浜市 幼児交通安全教育動画 検索



⑦黄色いワッパンの配布

子どもを守る交通安全キャンペーンの一環として、全国の小学校新入学児童を対象に、保護者やドライバーへの「注意喚起」と児童の交通安全意識の高揚を願って昭和40年から富士銀行(現在はみずほフィナンシャルグループ)とその他3社が毎年配布を行っているものです。当初は黄色い腕章、昭和49年から黄色いワッパンに形を変え、平成16年からは(株)みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン(株)、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険(株)の4社より寄贈いただいています。



令和6年度は取組開始から60年目にあたり、記念事業として株式会社ポケモンのご協力のもと「黄色い「ピカチュウ」ワッパン」として配布されました。

(3) 中学生・高校生

①中学生、高校生向け自転車交通安全教室

本市作成の「みんなのサイクルルールブックよこはま」を活用した、自転車交通安全教室を実施しました。

実績	20回、4,740名
----	------------



みんなのサイクルルールブックよこはま
 自転車のルールを体系的、網羅的にまとめた自転車ルールブック。
 交通安全教室等で教材として使用し、自転車のルールを周知しています。



自転車ルール啓発チラシ
 中高生の新入学時、
 市立の中高生に配布



自転車ルール啓発チラシ
 特別支援学校等に配布

②スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室

スタントマンが自転車事故を再現することで、交通ルールを遵守することの大切さを体感することができるスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施しました。



交通安全教室の様子：衝突実験

New !! ③自転車に関する道路交通法の改正の周知・啓発

市内中学校、高等学校、自転車駐車場等で道路交通法の改正(令和6年5月)に関するポスターを掲示し、新たな罰則規定について周知しました。

【改正内容】(令和6年 11 月施行)

1. ながら運転の罰則強化

自転車運転中にスマートフォンを操作することが罰則強化されました。違反した場合、6 か月以下の懲役または 10 万円以下の罰金が科されます。

さらに、ながら運転によって事故を引き起こした場合、1 年以下の懲役または 30 万円以下の罰金が科されます

2. 酒気帯び運転及び幫助

自転車の酒気帯び運転に対しても罰則が設けられました。違反者には 3 年以下の懲役または 50 万円以下の罰金が科されます。

飲酒運転を助長する行為(酒類の提供や同乗など)も罰則の対象となります。

3. 自転車運転者講習制度

道路交通法改正を踏まえ、自転車運転者講習制度の対象となる危険行為に「酒気帯び運転」、「携帯電話使用等」が加わりました。

講習制度の対象となる危険行為を、過去3年以内に2回以上繰り返した 14 歳以上の自転車運転者は自転車運転者講習の受講が義務付けられ、無視した場合 5 万円以下の罰金が科されます。

(4) 高齢者

①交通安全シルバーリーダー養成研修会

市内の老人クラブや町内会等において、交通ルールやマナーの周知・啓発を率先して行う高齢者交通安全指導者を養成するため、交通安全シルバーリーダー養成研修会を開催しました。

実績	2回、169 名
----	----------



啓発チラシ

②シルバー・セーフティスクール

高齢者による交通事故防止を目的としたシルバー・セーフティスクールを実施しました。

実績	26 回、1,574 名
----	--------------

(5) 一般向け

①自転車乗車時のヘルメット着用の周知・啓発

チラシやポスターを活用し、区役所や各イベント等で広報、啓発を進めるほか、交通安全教室やウェブ広告での周知、民間事業者と連携した広報・啓発等を、県警察とも連携しながら進めています。

New!!



啓発ポスター・チラシ

②思いやり SHARE THE ROAD 運動

自転車とクルマが互いに思いやりを持って車道を共有する意識(SHARE THE ROAD)を啓発する運動を、バスや公用車等へのステッカーの貼付、チラシ、ポスター等により周知を行っています。



ステッカーデザイン

③自転車損害賠償責任保険等への加入状況調査

「自転車のルールや保険加入状況」に関するアンケートインターネット調査(ヨコハマ e アンケート)を実施し、1,230人から回答がありました。

このうち約 38.0%が自転車を利用しており、自転車保険に加入している人は、自転車利用者の約 83.9%でした。(令和5年度約 78.5%)

本アンケート調査の結果を元に、世代別の自転車の安全な利用に関する啓発や、保険等への加入を進めていきます。



啓発ポスター・チラシ

④電動キックボードの安全利用啓発

運転者が知っておくべき交通ルールについてまとめた冊子を区役所で配布しました。

⑤視聴覚教材の貸出し

交通安全教育の効果的な推進を図るため、DVD等の視聴覚教材を、関係機関や企業等への貸出しを行いました。

⑥デジタルサイネージを活用した広報・啓発

市庁舎及び区役所のデジタルサイネージを活用し、交通安全運動・強化月間の周知などを実施しました。

⑦X(旧 Twitter)を活用した啓発活動

交通ルールの啓発やイベント情報等を発信しました。

アカウント:横浜市道路局道路政策推進課(@y_kotsuanzen)

▼二次元コードはこちら



3 その他の活動

(1)特別対策

神奈川県交通安全対策協議会が指定した地域において、地域の実情に応じた交通事故防止対策を推進しました。

①自転車交通事故多発地域

令和6年度自転車事故多発地域指定(横浜市内)・・・鶴見区、金沢区、瀬谷区

②高齢者交通事故多発地域

令和6年度高齢者交通事故多発地域指定(横浜市内)・・・中区

(2)踏切の交通事故防止

市内の踏切に対し、安全対策を計画的に進めています。

令和6年度は、樹源寺踏切、金沢八景(逗)第2踏切等の踏切安全対策に関する工事を進めました。

(3)横浜市交通安全対策会議における決定事項を踏まえた取組

令和4年度の交通安全対策会議にて、横浜市交通安全実施計画における令和7年度までの目標を「年間死者数 36 人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」とすることに決定しました。この目標を達成するため、引き続き交通事故防止の取組を進めていきます。

(4)横浜市交通安全功労者表彰式

本市の交通安全と事故防止に貢献し、その功績の顕著な個人及び団体を横浜市交通安全対策協議会会長(横浜市長)が表彰しました。

①日時

令和6年 10 月 29 日(火)

②会場

ロイヤルホールヨコハマ

被表彰者	個人 28 名、団体 12 団体
------	------------------



4 令和6年度交通安全対策事業の各区の取組について

鶴見区

秋の全国交通安全運動「しんつる交通安全フェスティバル」



9月22日しんつる
交通安全フェスタを新
鶴見ドライビングスク
ールにて実施

鶴見区自治連合会交通部長に対し
て安全教室を実施しました。



神奈川区

各季運動でキャンペーンを行いました。区役所窓口でも効果的に交通安全啓発活動
を行いました。

キャンペーンでは関係機関・団体と協働し
て、交通安全を呼びかけました。

区役所入口にのぼり旗を掲示し、総合
案内窓口でチラシ、啓発物品を配架し
て交通安全を呼びかけました。



東神奈川駅ペDESTリアンデッキ

三世代交通安全教室



総合案内窓口

西区

交通安全フェスティバルを開催!

9月14日

tvkハウジングプラザ横浜



交通安全クイズで正解ならカップセルトイができ、反射材などが入っていました。



自転車シミュレーターを体験し、親子で交通ルールやマナーを改めて確認し、正しい自転車の乗り方を学びました。



クイックステップを使い、ゲーム感覚で俊敏性を測定しました。



他にも、白バイ乗車体験、パトカー乗車体験などを通じて交通安全の啓発活動を実施しました。

中区



中区民祭り「ハローよこはま 2024」にブースを出店して、来場者に交通安全を呼びかけました。

広報よこはま なか区版 12月号で、安全な自転車利用のため、ルールを守り、交通事故を防止する啓発を行いました。



区内小学生が作成した交通安全ポスターの入賞作品を展示して、来場者に交通安全を呼びかけました。

QTop es (1)

自転車も乗れば車の仲間入り!

NAKA 12

ルールを守って安全に乗りましょう! 広報よこはま なか区版 No.326/2024年

自転車は健康にやさしく、健康にも良い乗り物ですが、交通ルールを守らずに利用すると大きな事故につながります。安全な自転車利用のため、ルールを守り、交通事故を防止しましょう。

【問合せ】 区役所地域活動担当 電話224-8132 伝224-8215

<p>車道では左側車の通行が原則!! 歩道通行は例外!</p> <p>自転車は歩道通行が原則です。 歩道の広さを、車やバイクと同じ向きに通行します。</p> <p>歩道を歩行者優先で通行し、歩行者の安全を妨げないよう通行します。</p>	<p>交通点では番号と一緒に停止を守って、安全確保</p> <p>一時停止標識による歩行者事故、歩行者が渡りかきになってしまった事例もあります。</p> <p>一時停止標識は必ず守りましょう。</p>
<p>ヘルメットを着用!</p> <p>自転車での死亡事故の多くは頭部の損傷が原因です。大切な命を守るため、ヘルメットを着用しましょう。</p> <p>大人も子どもも自転車に乗るすべての人は、ヘルメットの着用が努力義務となっています。</p>	<p>小さくなったライトを点灯</p> <p>夜間の走行はいつでも危険です。ライトには車に自分の存在を知らせる役割もあつきます。</p> <p>夜間はライトを点灯して、自分の存在を周りにアピール!</p>

神原川原では条例で、自転車保険への加入が義務付けられています

自転車利用中の事故には、第三者損害賠償責任が発生した事例があります。自転車を利用する人は、条例が必ず自転車保険に加入しましょう。自転車損害賠償や、人身賠償などの被害の被害となる場合があります。



南区

幼稚園児と保護者に対する交通安全教室の実施

- 内容:横断歩道における手を上げて右・左・右の確認
信号を守る・飛び出しをしない
横断歩道の渡り方、白バイ乗車体験
地域ボランティアの活動について
ヘルメット着用について
- 実施校:南聖心幼稚園、玉泉寺幼稚園
※幼稚園児のみの実施校:白百合光の子幼稚園、横浜白山幼稚園、
横浜英和幼稚園、認定こども園山王台幼稚園(予定)、三星幼稚園(予定)



港南区



バスを使ったり、VRゴーグルや各種シミュレーション機材を活用した印象に残る体験型の交通安全啓発活動等を推進しました!! 🚌 🚗



車の死角体験 🚌

10月16日バス使用の交通安全教室を開催🚌
交通局自動車本部の協力を得て、安全な乗車・横断を体験しました!!



VRゴーグル交通事故疑似体験 🚗

12月3日交通事故の疑似体験や自動車・自転車安全運転のシミュレーションを体験する“交通安全シルバーフェスタ”を開催しました!! 🚗



バスの安全な乗り方 🚌



視野診断・運転操作検査機 🚗

保土ケ谷区

《ほどがや安全・安心教室の開催》

要望のあった自治会に出向き、警察官の協力を得て交通安全講和を行っております。令和6年度は計5自治会(狩場町東部、ルネ上星川、常盤台みどりが丘、法泉境木、岩間町)に出向き交通安全講話を行いました。



《年末の交通安全キャンペーン》

年末の交通安全キャンペーンの一環で行われた「交通安全パレード」に参加してきました。一日警察署長としてフジテレビお天気キャスターの林佑香さんをお迎えし、天王町テレミン商店街にて交通安全を呼びかけながら、パレードを行いました。

旭区

■旭区交通安全シルバーリーダー連絡協議会 全体研修会(令和6年5月16日 旭公会堂)



区内のシルバーリーダーならびに今後シルバーリーダーの研修会に参加を希望されている方を対象に、神奈川県警教育隊をお招きし交通事故防止の研修会を実施しました。童謡に交通安全の歌詞をのせ、交通事故にあわないために実践してもらいたい行動を取り入れたトラビックを参加者全員で行いました。



■秋の全国交通安全運動・特殊詐欺撲滅キャンペーン

(令和6年9月18日 旭公会堂)

地元出身でTVK「スタージャン神」に出演されている『森實りこ』さんを1日警察署長にお迎えし、交通事故防止と特殊詐欺撲滅についての注意喚起を行いました。当日は神奈川県警音楽隊の演奏もあり、多くの方にご参加いただきました。



磯子区

一般向けに区内のイベントや行事での啓発、幼児向けに交通安全教室を実施!!

《4月20日、第39回日清オイリオ横浜磯子春まつりにブース出展!》
チラシや反射材の配布、「クイックアーム」という反射神経を測定する機器の体験などを通して啓発を実施しました。



《どこでもお出かけ区役所講座「幼児交通安全教室」を実施!》
年間を通して、区内の幼稚園・保育園に出向いて、横断歩道の渡り方等を指導しました。

金沢区

金沢区内における交通安全を願い、区民全体を見据えた各種イベント、キャンペーン等啓発活動を実施!

各期の交通安全運動に、京浜急行各駅で駅頭キャンペーンを実施。年末には大根(飲酒運転大根絶)を配布しました!



5月18日、小学生の自転車マナーアップを目的に、自転車マナーアップ小学生大会を開催しました!



9月18日、シニア世代を対象に、自転車マナーを中心とした交通安全シルバー大会を実施しました!

港北区

交通安全ポスターコンクール

交通安全ポスターコンクールには487点の応募があり、入賞作品を使ったカレンダーやクリアファイルを作りました。



秋の全国交通安全キャンペーン

9月21日、TBSアナウンサーの篠原梨菜さんを一日警察署長に迎え、トレッサ横浜で交通安全キャンペーンを実施しました。



緑区

各季交通安全運動・強化月間における啓発キャンペーン



▲春の全国交通安全運動
(鴨居駅周辺)



▲放置自転車クリーンキャンペーン
での啓発(十日市場駅周辺)



▲秋の全国交通安全運動(中山駅周辺)

緑区高齢者交通安全・防犯教室

(兼 緑区交通安全シルバーリーダー研修会)



関係団体や自治会と連携し、啓発活動や交通安全教室を実施しました！



緑区キャラクター「ミドリリン」

青葉区

令和6年度青葉区小学生「交通安全ポスターコンクール」開催

交通安全にかかわることをテーマに募集し、過去最高の 233 作品もの応募がありました。主催・共催・協賛団体の代表者に審査していただき、21 作品が入賞。12 月 25 日に青葉区役所で表彰式を行いました。入賞作品をまとめたポスターは区内地区センターやケアプラザ等に掲示し、交通安全の啓発活動に活用しました。



<最優秀賞>



<入賞作品をまとめたポスター>



<青葉区役所1階展示スペース>

都筑区

各季の交通安全運動に合わせ街頭キャンペーンや防犯メール等を活用した啓発活動を実施。区内大型商業施設での館内放送による呼びかけも行っています。

《春の全国交通安全運動キャンペーン》

総勢 100 人以上が集まり、啓発チラシ・反射材等を配布して交通安全を訴えた。



《秋の全国交通安全運動キャンペーン》

自衛隊「横浜湊和太鼓」による勇壮な演奏



<区民まつりや老人福祉センターでの交通安全啓発活動>



<年末の夜間監視>



戸塚区

交通安全キャンペーン

戸塚駅や西武東戸塚 S.C.にて交通安全協会や交通安全母の会など、地域の関係団体から約 60 名が集まり、交通安全を呼びかけながら啓発物品やチラシを配布しました。



交通安全パネル展

夏の交通安全キャンペーンでは、交通事故現場の写真や交通ルールに関するパネルを展示し、交通事故防止の啓発を実施しました。

栄区

今年度もいろいろな場を利用して交通安全啓発活動を行いました。



文字看板の掲出



デジタルサイネージでの広報



町内会での自転車交通安全教室



キャンペーン実施に向けて SNS 投稿



自転車の無料点検



飲食店へ広告掲示の協力依頼



地域振興課主催イベントで広報

泉区

◆交通安全キャンペーン

泉区交通安全対策協議会の関係団体と共に、区内の主要駅で各季交通安全の呼びかけを行いました。12月はクリスマスツリー展示の効果もあり、多くの方が足をとめて啓発物品を受け取っていただきました！



◆交通安全スローガンコンクール

児童が自ら交通安全について考えるきっかけ作りを目的に H19 年度から実施し、R6年度は区内 15 小学校から 4,342 点の応募がありました。最優秀賞は和泉小3年生が受賞しました！



令和6年度泉区交通安全スローガンコンクール最優秀賞作品
自転車は、大人も子どもも、ヘルメット



泉区マスコット
キャラクター
いっずん



瀬谷区

交通安全ポスターコンクール

夏休み期間を活用し、区内小中学生の皆さんに交通安全ポスターの募集を行いました。

小中学生合わせて290作品の応募があり、24作品が入賞しました。

入賞者の皆さんに区役所で賞状を授与しました。



(表彰式の様子)

(作品を掲載したカレンダー)



新入学児童用ランドセルカバー

毎年、新1年生(令和7年度の就学予定者数は804名)に交通安全ランドセルカバーを差し上げています。例年、ランドセルカバーに区キャラクター(せやまる、このは)を印刷していますが、今回は、園芸博バージョンを用意しました。



New!!

委員の皆様よりお寄せいただいた 取組事例の紹介

1 戸部交通安全協会 様

(戸部交通安全協会会員:いすゞ自動車株式会社 様)

2 一般財団法人旭交通安全協会 様

3 栄交通安全協会 様

4 一般社団法人神奈川県トラック協会 様

5 一般社団法人神奈川県自動車販売店協会 様

(神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会 様)

6 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)神奈川支部 様

7 一般財団法人横浜市交通安全協会 様



横浜市交通安全キャラクター
ルール まもる

ご協力ありがとうございました！

1 戸部交通安全協会 様

(戸部交通安全協会会員:いすゞ自動車株式会社 様)

神奈川県警察(戸部警察署)と連携した『交通安全啓発活動』事例

戸部交通安全協会会員:いすゞ自動車株式会社

日程	イベント名称・場所	対象	人数	活動内容	発信リンク	配布物
2024. 1.10	交通安全教室 【会場:西区キッズポケット木の葉保育園】	未就学児	100	・戸部警察署が行う「交通安全教室」への同行 ・当社から「反射材の効果」を紙芝居で子ども達へ伝え、お土産としてリフレクターバンドを提供	交通安全への取り組み 「キッズポケット木の葉保育園」	・リフレクターバンド 100個
2024. 3. 3	「春の交通安全フェス」 【会場:「MARK ISみなとみらい」とグラン モール公園「美術の広場」】	小学生以下と 保護者	1500	・戸部警察署と合同開催 ・ブース出展。こども免許証発行、リフレクターバンド、小型トラック死角体験実 車展示 ・【共同参加:いすゞ首都圏/戸部安全運転管理者会/戸部交通安全協会】	春の交通安全フェス @マークイズみなとみらい	・こども免許証発行 ・リフレクターバンド 800個
2024. 7~	グッズ提供 【会場:戸部警察署】	小学生以下	300	・警察署での「免許更新時」に親御さんがビデオ視聴をしている際(退出は不 可)に、同行した幼児が待てずに飽きてしまう。との相談を受け、 ・当社から「いすゞタウンの幼児用ドリル素材」と「リフレクターバンド」提供	いすゞタウン 「幼児向けドリル」	・幼児向けドリル ・シール素材 ・リフレクターバンド
2024. 8. 1	「戸部警察署1日警察署長イベント」 【会場:横浜駅西口ロータリー】	イベント 参加者	500	・西区役所地域振興課、戸部安全運転管理者会、戸部交通安全協会と連携 ・当社から「交通安全啓発グッズ(リフレクター・いすゞタウン交通安全ファイル) を提供	戸部警察署より広報発表あり	・クリアファイル ・リフレクターバンド
2024. 9.14	西区80周年イベント「西区BOW-祭フェア」 【会場:tvkハウジングプラザ横浜】	西区区民	100	・西区長より戸部署経由で「いすゞブース」の出展依頼 ・ブース出展。ワークショップとして、交通安全缶バッジ制作をブースで提供	横浜市西区HP	・クリアファイル ・リフレクターバンド ・交通安全缶バッジ
2024. 9.17	交通安全啓発物品寄贈 【会場:戸部警察署】	西区未就学児 /児童	-	・『LED信号機、横断歩道マット、ガシャポンマシン等』を寄贈、今後の交通安全 教室実施の際に活用いただく	戸部警察署より広報発表あり	-
2024. 9.24	「秋の全国交通安全運動~西区キャンペーン」 【会場:横浜駅そごう前】	西区区民	204	・ブース出展。ワークショップとして、交通安全缶バッジ制作をブースで提供	横浜そごう前スクリーンで放映 するサイネージ	・クリアファイル ・リフレクターバンド ・交通安全缶バッジ
2024.11.07	防犯教室・交通安全教室 【会場:ハグミーインターナショナルスクール横 浜】 https://hugme- is.co.jp/yokohama/ (2~5歳までの20人規模)	未就学児	40	・防犯の不審者訓練+おおだこポリス、交通安全教室を戸部警察署が実施。 ・当社から「反射材の効果」を紙芝居で子ども達へ伝え、お土産としてリフレク ターバンドを提供	交通安全への取り組み ハグミーインターナショナルス クール横浜	・クリアファイル ・リフレクターバンド
2024.12.06	交通安全教室 【会場:稲荷台小学校放課後キッズクラブ】	学童クラブ	50	当社は不参加、クリアファイル、リフレクターバンドのみ提供	-	・クリアファイル ・リフレクターバンド

2 一般財団法人旭交通安全協会 様

旭区内東部エリア(保育園、幼稚園 13 園)と 10 数年前より交通安全教室を行っています。
毎年 11 月及び 12 月に栢谷公園クランドで小学校入学前5歳児を対象に実施し、コロナ前は
13 園児を入学学校別にグループを作り、入学したら友達になれる様に対応していました。
(お弁当持ちで参加して、隣の公園で食事をとりました。)

参加人数は年度によって異なりますが 250 名~280 名、先生方は 60 名程度。

コロナ発生以降は密を避けるために三回に分けて一回100名前後で実施しています。

県警本部教育隊に協力をいただき、実技はお任せいたしました。

旭警察署指導の下で横断歩道の歩き方、県交通安全協会からミニ白バイを借りて記念撮影、
時には本物の白バイにも参加していただきました。旭警察署からは身にパトカーの参加も有りま
す。終わりには全員で旭区のあさひ君体操をして終了。

横浜市交通安全協会からはお土産に消しゴムミニパト、教育隊からミニ白バイと反射材を各園
にプレゼントいたしました。

令和7年度は東部エリアと西部エリア一部で実施を予定しています。



R6 交通安全教室(東部エリア)

ねらい…主学前に交通ルールを学び、安全に過ごせるようにする

参加園…鶴ヶ峰、左近山付近の保育・教育施設 12園 264名参加

実施数…2回(11月18日、22日)

3 栄交通安全協会 様

1 飲酒運転大根絶キャンペーン (令和6年実績:年1回 配布数 150 本)

ドライバーを対象に、飲酒運転大根絶のチラシ付きの大根を配布し、交通安全を呼び掛けています。また、近隣飲食店にミニのぼり旗を配布し、ハンドルキーパーを呼び掛けています。



2 交通安全ミニ凧キャンペーン (令和6年実績:年1回 配布数 200 枚)

一人でも多くの方に交通安全標語を読んでもらえるように、交通安全標語を記載した手作りのミニ凧を配布し、交通安全を呼び掛けています。



4 一般社団法人神奈川県トラック協会 様

●交通安全こどもショー

9月15日(日)、神奈川県民ホールにて、トラック輸送への理解と関心を地域社会に深め、交通安全の思想普及を目的に「トラックの日」イベントとして交通安全こどもショーが開催され、1,207名の来場がありました。

(当日入口・ロビーの様子)



(トラックデザインコンテスト表彰式・作品展)



(県警音楽隊・教育隊)



(アトラクション)



5 一般社団法人神奈川県自動車販売店協会 様

(神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会 様)

1 街頭啓発活動

春と秋の全国交通安全運動を中心に、市内所轄警察署等と連携しながら街頭啓発活動に参加、オリジナル啓発品を配布しました。

- ・春の全国交通安全運動 16地区210人
- ・夏の交通事故防止運動 3地区 50人
- ・秋の全国交通安全運動 16地区160人
- ・年末の交通事故防止運動 6地区 60人



2 ラジオ日本 交通安全キャンペーンに協賛

ラジオ番組に出演し活動を紹介するとともに、春の全国交通安全運動期間中に20回のショートメッセージを放送しました。



3 園児等向け交通安全教室

令和6年度に新たに開始した取組みで、市内4保育園、1学童施設で実施し、オリジナル啓発品を贈呈しました。



6 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)神奈川支部 様

1 幼稚園へのロードサービスカー展示

幼稚園でのイベントでは、JAF がロードサービスカーの展示・乗車体験、交通安全クイズ、子ども安全免許証の発行を行いました。この「子ども運転免許証」は、小学生以下の子どもたちに向けて、本物そっくりの免許証に子どもの写真を添付してプレゼントされます。免許証には「信号を守ります」「右左を確かめます」「横断歩道を渡ります」といったメッセージが記され、交通ルールを自然に意識する習慣を育みます。子どもたちは楽しみながら交通ルールを学び、自分だけの免許証を手にする事で、誇らしさと交通安全への意識を高めます。この活動は、未来の安全ドライバーを育てるための重要な一歩となります。イベント会場で見つけた際は、ぜひご参加ください。

2 ドライバーズセミナー 一般コース・シニアコースの開催

「ドライバーズセミナー 一般コース」は、初心者運転期間を終えた運転歴1年以上の方からベテランドライバーまでを対象とした交通安全講習会です。

マイカーを使用し、公道ではできない実技体験(スラロームや急ブレーキなど)を通じて「自分の運転技量」と「車両の特性」を認識し、安全運転につなげていただける講習です。「自分の運転技量」や「マイカーの車両の特性」を確かめたい方におすすめです。

「ドライバーズセミナー シニアコース」は一般コースとは違い 50 歳以上のベテランドライバーを対象としており、陥りやすい事故形態を想定した実技体験(見通しの悪い交差点の通過方法)などを通じて、『自分のクセ』と『自分の身体能力の変化』を認識し、安全運転につなげていただける講習です。

自分の運転が正しいのか疑問に思っている方、自分の運転を見直したい方におすすめです。

3 JAF 交通安全トレーニングの展開

JAF の交通安全啓発のノウハウを活かした交通安全教材を毎月 e ラーニング形式で配信し、学習できるツールです。さらに、学習結果の管理も可能です。

このツールは、企業の安全運転管理者が従業員教育を行う際のサポートを目的として開発されました。JAF ならではの実践的な教材を提供することで、安全運転管理者の業務を支援します。JAF 神奈川支部では、このツールを神奈川県内の企業に提案し、導入してもらうことで、安全運転管理者の業務支援にとどまらず、神奈川県内における交通事故件数の軽減や、安全運転の意識向上に貢献しています。

7 一般財団法人横浜市交通安全協会 様

1 協会公式Xでの交通安全広報
交通事故の実態に即した交通事故防止の
ワンポイントアドバイス等について情報発信しました。



交通安全犬しぐなる



▲二次元コードはこちら

2 横浜市自転車交通安全教室
横浜市が指定した中学校 20 校の生徒を対象とした、自転車利用者の事故責任、
自転車の通行場所、ながら運転の危険性等を学ぶ自転車交通安全教室を開催しました。



3 交通安全キャンペーン
地区交通安全協会等と連携し、各季の運動等における交通安全キャンペーンを実施しまし
た。(駅前や自転車駐車場付近にて実施。)



4 企業向け交通安全講話
協会賛助会員企業に対する交通安全講話を実施しました。



5 認知機能検査の実施
神奈川県公安委員会の認定機関として、75歳以上の高齢運転者を対象とした検査と高齢運
転者の交通事故防止講義を実施しました。

令和7年度 「横浜市交通安全運動実施計画」(案)

1 趣旨

令和6年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数 7,263 件(前年比-440 件)、負傷者数 8,321 人(前年比-588人)で、ともに減少しましたが、交通事故死者数は40人(前年比±0)と、依然として多くの尊い命が失われています。交通事故で亡くなられた方の状態別では、歩行中が 22 人、二輪車乗車中が 12 人と高い割合を占めているほか、年齢別では 65 歳以上の高齢者が関係するものが 18 人と4割以上を占めています。

こうした交通事故の発生傾向を踏まえ、令和7年は引き続き、令和4年度横浜市交通安全対策会議で定めた、「年間の交通事故死者数 36 人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標に、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

2 年間スローガン

「安全は 心と時間の ゆとりから」

3 重点事項

- 横断歩道における歩行者優先の徹底
- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 自転車・二輪車の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶



横浜市交通安全キャラクター
ルールちゃん まもるくん

4 活動推進

- 夕暮れ時の前照灯の早め点灯と走行用前照灯(ハイビーム)の効果的活用
- 自転車損害賠償責任保険等の加入義務及び全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知の徹底
- 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 踏切道における交通事故防止
- 暴走族の追放
- 障がい者(特に視覚障がい者)の交通事故防止

5 年間運動

(1) 各季の運動 (※上記重点事項、活動推進を網羅して包括的に取り組む交通安全運動です。)

名称	実施期間	備考
春の全国交通安全運動	4月6日～15日	別に実施要綱を定めます。
交通事故死ゼロを目指す日	4月10日	
夏の交通事故防止運動	7月11日～20日	
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	
交通事故死ゼロを目指す日	9月30日	
年末の交通事故防止運動	12月11日～20日	

(2) 強化月間 (※重点事項、活動推進のうち、期間中特に強化して行う運動です。)

名称(スローガン)	実施期間	備考
九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間 (自転車も のれば車の なかまいり)	5月1日～31日	別に実施要綱を定めます。
二輪車交通事故防止強化月間 (運転に ゆとり やさしさ 思いやり) 暴走族追放強化月間 (暴走は しない させない ゆるさない)	6月1日～30日	
首都圏放置自転車クリーンキャンペーン (ちょっとだけ 甘えが招く 迷惑駐車) (自転車の 代わりに置こう 思いやり)	10月1日～31日	

(3) 年間を通じて実施する取組(各季交通安全運動や強化月間にかかわらず、年間で実施する取組)

ア 子どもと高齢者の交通事故防止

- 幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象とした、横浜市幼児交通安全教育指導員による幼児交通安全教育の推進
- はまっ子交通あんぜん教室等、児童を対象とした交通安全教育の推進
- チャイルドシート着用の推進
- 高齢者交通安全教育の推進
- 交通安全シルバーリーダーの養成・活動の推進

イ 自転車・二輪車の交通事故防止

- 小・中・高校生を対象とした交通安全教室の開催
- リーフレット、世代・対象者別の啓発チラシの配布
- 自転車とクルマの互いの思いやりを啓発する「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の実施
- 自転車等を放置しないように呼び掛ける運動の推進
- 体験型の交通安全教室であるスケアード・ストレイト方式交通安全教室の開催
- 自転車点検整備と自転車損害賠償責任保険等加入の促進
- 自転車の乗車用ヘルメット着用の促進
- 二輪車の乗り方に関する啓発及び二輪車講習会の開催

ウ その他

- 飲酒運転根絶に向けた啓発の推進
- 電動キックボードの安全利用に関する周知・啓発
- 視覚に障がいがある方など体の不自由な方に対する思いやりに関する周知・啓発
- 視聴覚教材の貸出し
- ウェブサイトを活用した広報・啓発
- SNS(X等)、動画等を活用した啓発

6 横浜市交通安全対策協議会の会議等日程

名称	開催時期	内容等
交通安全功労者表彰式	令和7年 10月下旬(予定)	多年にわたり本市の交通安全と交通事故防止に貢献し、その功績が顕著な個人及び団体を表彰します。
総会	令和8年 2月(予定)	【協議事項】 ・令和7年度交通安全運動実施結果について ・令和8年度交通安全運動実施計画(案)について

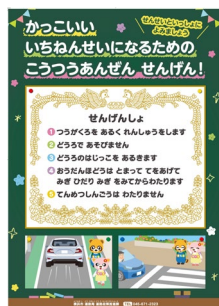
◆ 各種交通安全啓発チラシ配布等について

自転車を安全で快適に利用するために知っておきたい交通ルール等をまとめた「みんなのサイクルルールブックよこはま」や、世代・対象者別の啓発チラシ等を作成し、配布しています。

ルールブックや啓発チラシは、市ウェブサイト(交通安全 横浜市で検索)からダウンロードして自由にお使いいただけます。また、交通安全動画(YouTube)も公開していますので是非ご覧ください。



(サイクル
ルールブック)



(啓発ポスター・チラシ)

◆交通安全動画



(小学生向け交通安全動画)



(ルールとまもるからのちょうせんじょう)

◆ 視聴覚教材等の貸出しについて

横浜市道路局では、視聴覚教材(DVD)及びパペットの貸出しを行っておりますので、交通安全教育に是非ご活用ください。詳細は、市ウェブサイトをご参照ください。

受付方法 電話にて受け付けています。 ☎045(671)2323

対象 横浜市内の団体(保育所、幼稚園、事業所、自治会町内会、老人クラブ、その他公共団体等)

視聴覚教材(DVD)



パペット



(ルール) (まもる)

自治会・町内会

- 横浜市町内会連合会
- 各区連合町内会

交通安全協会、団体等

- (一財)横浜市交通安全協会
- 各地区交通安全協会
- 横浜市交通安全母の会連合会
- 各地区安全運転管理者会

女性・青少年団体

- 横浜市女性団体連絡協議会
- 横浜市青年団体連絡協議会
- 横浜市青少年指導員連絡協議会
- 横浜市スポーツ推進委員連絡協議会
- ボーイスカウト横浜市連合会
- ガールスカウト横浜市連絡協議会
- 横浜海洋少年団
- 横浜市健民少年団
- 横浜市子ども会連絡協議会

自動車等関連団体

- 神奈川県二輪車普及安全協会
- (一社)神奈川県指定自動車教習所協会
- (一社)神奈川県自動車会議所
- 神奈川県タクシー協会
- (一社)神奈川県バス協会
- 神奈川県トラック協会
- 神奈川県自動車整備振興会
- 神奈川県自動車販売店協会
- 神奈川県軽自動車協会
- 神奈川県自転車商協同組合
- 横浜個人タクシー協同組合
- 神奈川県個人タクシー協同組合
- 日本自動車連盟神奈川支部
- 赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川支部

商工関係

- 横浜商工会議所
- (一社)横浜青年会議所
- 横浜市商店街総連合会

司法、保護機関・団体

- 神奈川県弁護士会
- 横浜市人権擁護委員会

医師会等

- 横浜市医師会
- 横浜市病院協会

労働組合

- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合

教育関係機関・団体

- 横浜市立高等学校長会
- 横浜市立中学校長会
- 横浜市立小学校長会
- 横浜市私立中学高等学校長協会
- 横浜市幼稚園協会
- 横浜市PTA連絡協議会
- 横浜市学校保健会

鉄道関係

- 東日本旅客鉄道(株)横浜保線設備技術センター
- 東日本旅客鉄道(株)横浜駅
- 東京急行電鉄(株)鉄道事業本部運輸計画部
- 京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部
- 相模鉄道(株)施設部
- 横浜高速鉄道(株)運輸部

報道関係

- 日本放送協会横浜放送局
- アール・エフ・ラジオ日本
- テレビ神奈川
- 神奈川新聞社
- 毎日新聞社横浜支局
- 読売新聞社横浜支局
- 朝日新聞社横浜総局
- 産業経済新聞社横浜総局
- 東京新聞横浜支局
- 日本経済新聞社横浜支局
- 共同通信社横浜支局
- 時事通信社横浜総局

道路管理者

- 国土交通省横浜国道事務所
- 中日本高速道路(株)東京支社
- 東日本高速道路(株)関東支社
- 首都高速道路(株)神奈川局

その他関係団体

- (公財)横浜市老人クラブ連合会
- (福)横浜市社会福祉協議会
- 横浜市民生委員児童委員協議会
- 横浜ライオンズクラブ

官公庁

- 関東運輸局神奈川運輸支局
- 神奈川県
- 神奈川県警察
- 横浜市 (順不同)

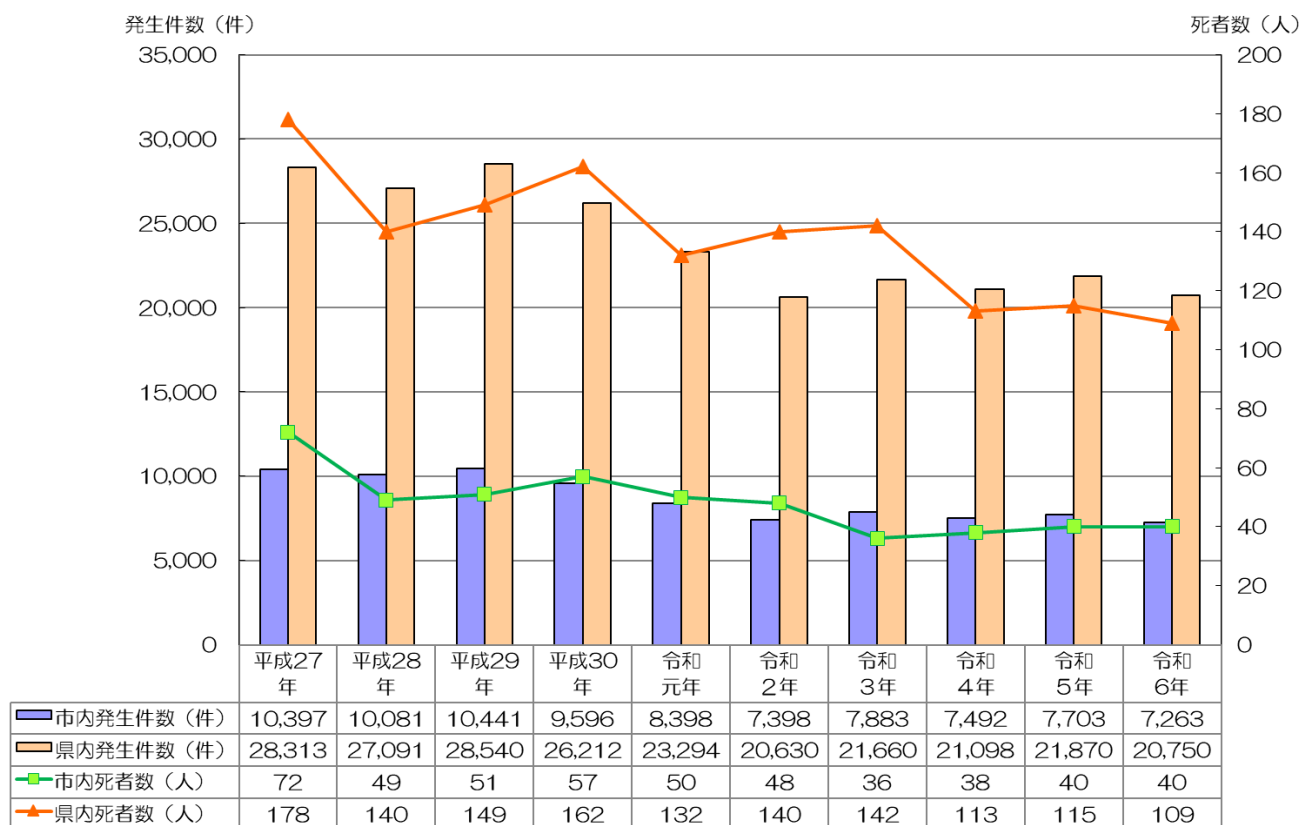
横浜市交通安全対策協議会
(事務局)横浜市道路局道路政策推進課 電話045(671)2323

資料1 横浜市における交通事故の状況等

1 交通事故の状況

		件数 (件)			死者数 (人)			負傷者数 (人)		
		前年比	増減率(%)		前年比	増減率(%)		前年比	増減率(%)	
令和元年	横浜市	8,398	-1,198	-12.5	50	-7	-12.3	9,699	-1,438	-12.9
	神奈川県	23,294	-2,918	-11.1	132	-30	-18.5	27,392	-3,629	-11.7
	全国	381,237	-49,364	-11.5	3,215	-317	-9.0	461,775	-64,071	-12.2
令和2年	横浜市	7,398	-1,000	-11.9	48	-2	-4.0	8,468	-1,231	-12.7
	神奈川県	20,630	-2,664	-11.4	140	+8	+6.1	23,904	-3,488	-12.7
	全国	309,178	-72,059	-18.9	2,839	-376	-11.7	369,476	-92,299	-20.0
令和3年	横浜市	7,883	+485	+6.6	36	-12	-25.0	8,997	+529	+6.2
	神奈川県	21,660	+1,030	+5.0	142	+2	+1.4	25,062	+1,158	+4.8
	全国	305,196	-3,982	-1.3	2,636	-203	-7.2	362,131	-7,345	-2.0
令和4年	横浜市	7,492	-391	-5.0	38	+2	+5.6	8,483	-514	-5.7
	神奈川県	21,098	-562	-2.6	113	-29	-20.4	24,382	-680	-2.7
	全国	300,839	-4,357	-1.4	2,610	-26	-1.0	356,601	-5,530	-1.5
令和5年	横浜市	7,703	+211	+2.8	40	+2	+5.3	8,909	+426	+5.0
	神奈川県	21,870	+772	+3.7	115	+2	+1.8	25,644	+1,262	+5.2
	全国	307,930	+7,091	+2.4	2,678	+68	+2.6	365,595	+8,994	+2.5
令和6年	横浜市	7,263	-440	-5.7	40	±0	±0.0	8,321	-588	-6.6
	神奈川県	20,750	-1,120	-5.1	109	-6	-5.2	24,123	-1,521	-5.9
	全国	290,792	-17,138	-5.6	2,663	-15	-0.6	343,756	-21,839	-6.0

2 県内事故との比較



3 区別交通事故の発生状況

	件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
鶴見区	523	5	592
神奈川区	377	0	433
西区	275	2	312
中区	504	8	572
南区	396	2	446
港南区	411	0	479
保土ヶ谷区	395	4	437
旭区	519	4	580
磯子区	230	0	275
金沢区	403	4	465
港北区	570	2	655
緑区	452	2	504
青葉区	561	1	666
都筑区	423	1	505
戸塚区	515	2	575
栄区	119	1	136
泉区	327	1	377
瀬谷区	263	1	312
合計	7,263	40	8,321

4 区別各種事故の発生件数

	子ども			高齢者	歩行者	自転車	二輪車	
	幼児・園児	小学生	中学生					
鶴見区	29	6	18	5	170	110	157	157
神奈川区	22	5	13	4	122	86	66	126
西区	15	4	8	3	70	73	38	84
中区	20	4	10	6	164	131	106	142
南区	34	7	18	9	145	87	97	145
港南区	21	4	9	8	151	83	74	132
保土ヶ谷区	14	1	8	5	140	91	57	138
旭区	34	5	15	14	172	141	90	183
磯子区	12	2	8	2	92	44	42	79
金沢区	27	8	16	3	167	81	95	133
港北区	57	19	27	11	152	144	156	173
緑区	40	10	20	10	155	99	115	121
青葉区	42	8	21	13	201	116	103	154
都筑区	37	13	15	9	110	89	85	120
戸塚区	29	2	23	4	166	114	89	172
栄区	5	0	4	1	53	31	22	45
泉区	23	3	12	8	128	64	75	118
瀬谷区	21	2	7	12	95	43	63	78
横浜市内	482	103	252	127	2,453	1,627	1,530	2,300
県内	1,416	297	750	369	7,118	3,972	5,002	5,836

自転車の発生件数は、自転車が1当又は2当となった事故の件数をいう。

その他の発生件数は、3当以下を含む件数。

資料2

横浜市交通安全対策協議会会則

(名 称)

第1条 この会は、横浜市交通安全対策協議会(以下「協議会」という。)という。

(目 的)

第2条 協議会は、市内における交通事故の状況をふまえ、交通の安全と円滑の確保に関し、関係行政機関及び団体の密接な連携のもとに、総合的かつ効果的な対策を強力に推進することを目的とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議する。

- (1) 各種交通安全運動の推進に関すること
- (2) 交通安全意識の高揚及び交通安全教育の推進に関すること
- (3) 道路交通環境の整備改善に関すること
- (4) 関係組織及び団体に関する交通安全施策の推進に関すること
- (5) その他交通安全の推進に関すること

(組 織)

第4条 協議会は、関係行政機関及び団体の代表者からなる委員をもって組織し、会長1名、副会長若干名を置く。

(会長及び副会長)

第5条 会長は、横浜市長をもってあてる。

- 2 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
- 3 副会長は、横浜市副市長及び横浜市交通安全協会会長をもってあてる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名したものが、その職務を代行する。

(顧 問)

第6条 協議会に、顧問若干名を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱し、会長の諮問に応じて協議会に対し助言を行うものとする。

(部 会)

第7条 協議会に、交通安全部会（以下、「部会」という。）を置き、次に掲げる事項を分掌するほか、会長が特に必要と認めたときは特別部会を置くことができる。

- (1) 交通安全のための広報活動、教育、指導に関する事項
- (2) 児童の交通事故防止に関する事項
- (3) 道路等の施設並びに交通安全施設の整備改善等に関する事項

2 部会は、委員のうちから会長が指名した部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。

3 部会長は、必要と認める場合は、その事務の一部を、幹事会に委任することができる。

(部会長及び副部会長)

第8条 部会長は、部会の事務を掌理し、部会を代表する。

2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会 議)

第9条 協議会の会議は、総会及び部会とする。

2 総会は会長が招集し、その議長となる。

3 部会は部会長が招集し、その議長となる。

(意見聴取)

第10条 会長及び部会長は、必要と認めたときは、交通問題に関し学識経験のある者に対し、総会または部会に出席を求め、その意見を聞くことができる。

(幹 事 会)

第11条 協議会の運営を円滑にするため、部会ごとに幹事会を置く。

2 幹事会は、関係機関・団体及び市職員のうちから会長が指名する幹事をもって組織する。

3 幹事会は、その属する部会の分掌事項につき調査、研究並びに連絡調整を行うほか、部会長から委任された事務を行うものとする。

4 幹事会は、部会長が招集し、第13条に定める事務局長がその議長となる。

(会議結果)

第12条 総会及び部会において協議決定した事項について、委員及び幹事は、積極的実現を図るものとする。

(事務局)

第13条 協議会の事務局を横浜市道路局道路政策推進部道路政策推進課に置く。

2 事務局長は、横浜市道路局道路政策推進部長をもってあてる。

(補則)

第14条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(附則)

この会則は、昭和43年2月20日から施行する。

(附則)

この会則は、平成18年4月1日から施行する。

(附則)

この会則は、平成19年7月5日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

(附則)

この会則は、令和6年4月1日から施行する。

資料3

横浜市交通安全対策協議会委員名簿

令和7年2月28日現在

会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市長	山中 竹春

副会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 副市長	平原 敏英
(一財)横浜市交通安全協会 会長	板橋 悟

顧問	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県警察本部長	和田 薫

監事	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 政策経営局長	松浦 淳
横浜市 市民局長	渋谷 昭子
横浜市 こども青少年局長	福嶋 誠也
横浜市 健康福祉局長	佐藤 泰輔
横浜市 都市整備局長	鈴木 和宏
横浜市 道路局 道路政策担当理事	栗本 高史
横浜市 消防局長	平中 隆

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 交通局長	三村 庄一
横浜市 教育長	下田 康晴
横浜市 鶴見区長	渋谷 治雄
横浜市 神奈川区長	鈴木 茂久
横浜市 西区長	菊地 健次
横浜市 中区長	小林 英二
横浜市 南区長	高澤 和義

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 港南区長	栗原 敏也
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜市 旭区長	権藤 由紀子
横浜市 磯子区長	高橋 功
横浜市 金沢区長	齋藤 真美奈
横浜市 港北区長	竹下 幸紀
横浜市 緑区長	佐藤 康博
横浜市 青葉区長	中島 隆雄
横浜市 都筑区長	佐々田 賢一
横浜市 戸塚区長	近藤 武
横浜市 栄区長	松永 朋美
横浜市 泉区長	山口 賢
横浜市 瀬谷区長	植木 八千代
横浜市立高等学校長会 会長	永瀬 哲
横浜市立中学校長会 会長	室伏 健治
横浜市立小学校長会 会長	大塩 啓介
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所長	宮本 久仁彦
関東運輸局神奈川運輸支局 首席陸運技術専門官	高木 勝義
東日本高速道路(株) 関東支社 京浜管理事務所長	飯干 貴彰
中日本高速道路(株) 東京支社長	荒井 靖博
首都高速道路(株) 神奈川局長	田部井 聡
東日本旅客鉄道(株)横浜保線設 備技術センター所長	江南 和彦
東日本旅客鉄道(株) 横浜駅長	大野 武一

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県 くらし安全防災局長	三浦 昌弘
神奈川県警察本部 交通部長	倉林 徹
神奈川県警察本部 交通部理事官	板垣 稔
横浜市町内会連合会 会長	馬場 勝己
鶴見区自治連合会 会長	宮野 昌夫
神奈川区連合町内会 自治会連絡協議会会長	岐部 文明
西区連合町内会・自治会 連絡協議会会長	平野 周二
中区連合町内会長 連絡協議会会長	松澤 秀夫
南区連合町内会長 連絡協議会会長	吉井 肇
港南区連合町内会長 連絡協議会会長	古屋 文雄
保土ヶ谷区連合町内会長 連絡会会長	金子 久夫
旭区連合自治会町内会 連絡協議会会長	林 重克
磯子区連合町内会長会 会長	須田 幸雄
金沢区町内会連合会 会長代行	増田 一行
港北区連合町内会 会長	関 治美
緑区連合自治会長会 会長	木村 赳
青葉区連合自治会長会 会長	久保田 実
都筑区連合町内会 自治会会長	吉野 富雄
戸塚区連合町内会 自治会連絡会会長	菊池 賢児
栄区連合町内会会長	細田 利明
泉区連合自治会 町内会長会会長	馬場 勝己
瀬谷区連合町内会 自治会連絡協議会会長	高岩 敏和

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見交通安全協会会長	大野 慶太
(一財)神奈川交通安全協会会長	小松 範昭
戸部交通安全協会会長	三石 孝司
加賀町交通安全協会会長	西條 敏一
山手交通安全協会会長	馬場 正治
伊勢佐木交通安全協会会長	依田 龍治
横浜水上交通安全協会会長	藤木 幸吉
(一社)南交通安全協会会長	長谷川 史浩
港南交通安全協会会長	内倉 忠勇
保土ヶ谷交通安全協会会長	板橋 悟
(一財)旭交通安全協会会長	小磯 守
磯子交通安全協会会長	室井 烈
金沢交通安全協会会長	服部 次男
(一財)港北交通安全協会代表理事	嶋村 公
緑交通安全協会会長	鈴木 正雄
青葉交通安全協会会長	工藤 明
都筑交通安全協会会長	加藤 恒雄
戸塚交通安全協会会長	川邊 重男
栄交通安全協会会長	森 克巳
(一社)泉交通安全協会会長	八巻 裕仁
瀬谷交通安全協会会長	相澤 暁三
横浜市交通安全母の会連合会会長	五反田 佐千子

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見安全運転管理者会会長	山谷 朋彦
神奈川安全運転管理者会会長	船尾 淳一
戸部安全運転管理者会会長	山口 喜久雄
加賀町安全運転管理者会会長	山口 和昭
山手安全運転管理者会会長	志村 力
伊勢佐木安全運転管理者会会長	笠間 裕
横浜水上安全運転管理者会会長	執行 茂
南安全運転管理者会会長	落合 裕介
港南安全運転管理者会会長	江塚 潔
保土ヶ谷安全運転管理者会会長	工藤 樹
旭安全運転管理者会会長	岩下 幸男
磯子安全運転管理者会会長	佐野 慶春
金沢安全運転管理者会会長	前田 治明
港北安全運転管理者会会長	安齊 博仁
緑安全運転管理者会会長	川島 健
青葉安全運転管理者会会長	飯田 敬
都筑安全運転管理者会会長	佐藤 昌彦
戸塚安全運転管理者会会長	大場 吉彦
栄安全運転管理者会会長	佐々木 克巳
泉安全運転管理者会会長	岡田 英之
瀬谷安全運転管理者会会長	柳沼 芳光

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二
横浜市私立中学高等 学校長協会会長	葛 蔵造
横浜市幼稚園協会 副会長	久米 真浩
横浜市PTA連絡協議会 会長	東 隆幸
横浜市学校保健会会長	戸塚 武和
横浜市女性団体 連絡協議会会長	松井 佑子
横浜市青年団体 連絡協議会会長	浅井 正美
横浜市青少年指導員連絡協 議会副会長(栄区会長)	伊藤 元秀
横浜市スポーツ推進委員 連絡協議会会長	平井 孝幸
ボーイスカウト 横浜市連合会会長	宮崎 弘一
ガールスカウト 横浜市連絡協議会会長	野本 千恵子
横浜海洋少年団副団長	新岡 十三夫
横浜市健民少年団団長	魚地 昌彦
横浜市 子ども会連絡協議会会長	松本 豊
(公財)横浜市老人クラブ連合 会 代理理事(副理事長)	日向 邦夫
(福)横浜市社会福祉協議会 会長	石内 亮
横浜市民生委員 児童委員協議会会長	石井 マサ子
横浜ライオンズクラブ会長	鈴木 軌士
(一社)横浜青年会議所 理事長	萩原 幸雄
横浜市商店街総連合会 会長	石川 清貴
横浜市医師会会長	戸塚 武和
横浜市病院協会会長	松井 住仁

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県弁護士会会長	岩田 武司
横浜市 人権擁護委員会会長	小林 千恵子
日本労働組合総連合会 神奈川県連合会執行委員	加納 浩孝
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 横浜地域連合副議長	柴田 康光
神奈川県二輪車普及安全 協会会長	宮本 義信
(一社)神奈川県指定自動車 教習所協会会長	鈴木 康仁
(一社)神奈川県自動車会議所 会長	吉田 修一
神奈川県タクシー協会会長	伊藤 宏
(一社)神奈川県バス協会会長	堀 康紀
神奈川県トラック協会会長	吉田 修一
(一社)神奈川県自動車整備 振興会会長	印出 和憲
(一社)神奈川県自動車 販売店協会会長	高木 恵一
神奈川県軽自動車協会会長	田中 章泰
神奈川県自転車商 協同組合理事長	遠藤 繁仁
横浜個人タクシー 協同組合理事長	門谷 真人
神奈川個人タクシー 協同組合理事長	安部 廣行
日本自動車連盟 神奈川支部長	上野 健彦
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合 神奈川県支部支部長	永田 広樹
東急電鉄(株) 広報・マーケティング部 沿線企画課長	梶谷 俊夫
京浜急行電鉄(株) 鉄道本部施設部長	富岡 勇人
相模鉄道(株) 施設部工務課 課長代理	鈴木 啓之
横浜高速鉄道(株) 取締役運輸部長	関 高

委員	
所属団体の役職名	氏 名
日本放送協会 横浜放送局長	平元 亨
アール・エフ・ラジオ日本 編成局長	西村 泰男
神奈川新聞社 取締役・統合編集局長	秋山 理砂
毎日新聞社 横浜支局長	高山 祐
読売新聞社 横浜支局長	中川 誠
朝日新聞社 横浜総局長	石田 勲
産業経済新聞社 横浜総局長	松本 浩史
東京新聞 横浜支局長	加藤 文
日本経済新聞社 横浜支局長	池澤 健一
共同通信社 横浜支局長	木下 貴史
時事通信社 横浜総局長	小島 洋
テレビ神奈川 取締役 報道・編成担当	嶋田 充郎



横浜市交通安全対策協議会事務局
横浜市道路局道路政策推進部道路政策推進課
電話 045-671-2323